

農業者年金 30年度加入推進部長決定

「農業者年金加入推進特別対策に関する申し合わせ決議」に基づいて重点市町村に指定された22市町村で、平成30年度の加入推進活動の核となる加入推進部長が次のとおり決まった。

(敬称略)

- ▽高槻市 堤 勇 (常任委員)
- ▽茨木市 小濱 邦臣 (農委副会長)
- ▽能勢町 芝 久雄 (農委会長)
- ▽池田市 谷田 嘉市 (農委会長)

- ▽箕面市 阪本喜代治 (農委会長)
- ▽和泉市 井阪 正明 (農委会長)
- ▽岸和田市 木下 良三 (農業委員)
- ▽貝塚市 山本慎一郎 (最適化推進委員)
- ▽泉佐野市 勝間富士男 (農委副会長)
- ▽泉南市 中野 吉次 (農委副会長)
- ▽太子町 仲村 廣文 (農委副会長)
- ▽河南町 松井 嘉昭 (農委副会長)

- ▽富田林市 浅岡 均 (農委副会長)
- ▽河内長野市 中谷 勉 (農委副会長)
- ▽羽曳野市 尼丁 信廣 (農委副会長)
- ▽大阪狭山市 池田 雅和 (農業委員)
- ▽八尾市 齊藤 暁 (農委副会長)
- ▽柏原市 文能 啓志 (農委副会長)
- ▽枚方市 額田 敏晴 (農委副会長職務代理)
- ▽寝屋川市 皆見 吉孝 (農政企画委員会委員長)
- ▽大阪市 外山 久 (農業専門委員)

▽堺市 辻 千太郎 (農委副会長職務代理)

8月の新規加入者は2人

大阪府における8月の新規加入者は岸和田市1人、能勢町1人の2人となった。これにより今年度の新規加入者は堺市5人、岸和田市3人、和泉市1人、能勢町1人の計10人となり、すでに昨年度の実績を上回り、

る結果となっている。

こうした加入者は、日頃のJ Aや農業委員会の会議等での加入推進の説明・チラシ配布、戸別訪問などの地道な活動により、農業者年金に興味を抱き、加入を決めている。

今後、更なる制度の周知徹底に向け、加入推進部長を中心に、各農業委員会の積極的な取り組みが望まれる。(中島)

従業員雇用の講習会を開催

府担い手協

や労務管理等について講演した。

大阪府担い手育成総合支援協議会(中谷清会長)は7月27日、貝塚市内で第1回従業員雇用に関する経営講習会を開催し、泉州地区の農家等35人が参加した。講習会は農業会議、農業経営者会議、府泉州及び南河内農と緑の総合事務所との共催。

講師は富田林市内でナス、キュウリ等を生産するナカスジファームの中筋秀樹代表。自身の経験をもち、従業員の育成

ナカスジファームでは常勤の従業員が25人、繁忙期には更に15人程度が非常勤で働いており、常勤の中には外国人技能実習生も含まれている。農業未経験者であればまずは作業を体験してもらい、ミスマッチを減らしている。

また、人材育成では、作業の意味を認識させることが重要であり、「目標への進み方を従業員も一緒に考えると、彼らが活

き活きしてくる」と中筋氏。「従業員への向き合い方、経営の方向性に関して、現在も日々悩んでおり、就農した頃と変わらない」と話した。

参加者からは、従業員の作業量・時間や労働環境、特に外国人技能実習生受け入れの実態について多くの質問が寄せられるなど、熱のこもった講習会となった。



参加者らはナカスジファームの取り組みに熱心に耳を傾けた

農地・農業用施設で約13億円

平成30年7月豪雨被害

大阪府環境農林水産部農政室は、7月5日から8日にかけて発生した「平成30年7月豪雨」

の被害総額をとりまとめ(7月27日時点)。農地・農業用施設では約12億8860万3000円。農作物・樹体被害、農業用機械・施設等では、計37件、被害額では約875万円にのぼり、府内各地に甚大な被害をもたらした。

義援金・中間報告

農業委員会系統組織では平成30年豪雨災害で被災された農業者等の今後の経営と生活の回復を図り、1日も早い復興を支援するため、義援金活動に取り組んでいる。

8月28日時点では、府内農業委員等から計44万5126円の協力があった。農委系統組織による義援金は、9月15日まで受け付けている。(沼田)